

初の新卒採用で内定式

ウイルオブ・コン
ストラクション

建設系技術者の人材派遣事業などを手掛けるウイルオブ・コンストラクション（横浜市港北区、大原茂代表取締役兼最高経営責任者〈CEO〉）は、2021年4月に入社する学生の内定式を東京都内で16日に開いた。新型コロナウイルスの感染防止対策としてオンラインで実施。内定者の代表2人が式に出席し内定証書を受け取った。写真。

同社の新卒採用は本年度



が初めて。これまででは親会社のウイルグループが一括採用していた。内定式には会社から取締役2人が出席し、会社の歴史やコロナ禍での雇用環境を説明した。内定者や役員、部長クラスの新社員が参加したパネルディスカッションでは、会社の実像や将来などを議論した。